

医療・介護の負担軽減と 消費税増税の中止を求めます

衆議院議長殿
参議院議長殿

2012年 月 日
紹介議員

< 請願趣旨 >

民主・自民・公明3党が「裏取引」によって成立を強行した、消費税の大増税と、「社会保障制度改革推進法」は、まったく国民の願いに背を向けるものです。

2012年4月から、介護保険・後期高齢者医療保険・国保などの保険料が軒並み引き上げられ、年金額の引き下げと相まって、高齢者・国民の生活を直撃しています。多くの国民が大変な困難を背負って暮らしている中、それに追い打ちをかける消費税の大増税は決して実施してはなりません。さらに、2013年度に導入しようとしている医療・介護の負担増も断じておこなわれるべきではありません。



誰もが安心してらせる医療・介護制度とするために、私たちは下記の事項の実現を強く求めます。

< 請願項目 >

1. 介護保険・後期高齢者医療保険・国保の保険料と一部負担・利用料を引き下げること。
そのために国庫負担を増額すること。
2. 政府が2013年度の導入を検討している、下記の負担増計画を断念すること。
 - ①70歳から74歳の医療費負担の2倍化
 - ②病院・診療所を受診時に、毎回定額負担を上乗せすること
 - ③介護保険の「軽介護者」の利用料の2倍化
 - ④ケアプラン作成・管理の有料化
3. 2014年に実施されようとしている消費税増税を、中止すること。

お名前	ご住所

取扱団体 北海道社会保障推進協議会 札幌市北区北14西3 1-12 TEL(011)758-2648	
--	--

怒心

民主・自民・公明3党は、国民の目の届かない裏取引で、8月10日消費税の増税と、社会保障の改悪を推進する法案の採決を強行しました。政府と三党は「増税は社会保障のため」と言いつくろってきましたが、国民はそのごまかしを見抜きました。増税に反対する国民の声を聞かずに、オリンピックの最中に、これだけの重大な法案の採決を強行したことへの怒りは収まりません。



- 怒!** 年金が下がっているのに、保険料は値上げされ
- 怒!** 給料は目減りしてるのに、税金・保険料は増えていく
- 怒!** そのうえ、裏取引で消費税増税を決めるなんて・・・

私たち国民は許さない!

今年度から、介護保険料・後期高齢者医療保険料、さらに国保料などが軒並み引き上げられています。これらが8月に支給された年金から天引きされ、「年金が下がっているのに、こんなに保険料を引かれたら、暮らしていけない」と高齢者の怒りと不安の声が広がっています。

しかし、政府と民主・自民・公明党は消費税増税だけでなく、さらに来年春にも医療・介護の負担増を狙っています。

高齢者・国民の暮らしを守るために、政府は国の負担を増やし、保険料や利用料・医療費窓口負担の引き下げをはかるべきです。

政府の医療・介護負担増計画

医療では

- 70歳から74歳までの方の窓口負担を2倍に引き上げる（1割負担を2割へ）
- 受診のたびに定額負担を上乗せする

介護では

- 軽介護者の利用料を2倍に
- ケアプランを有料に（毎月1000円）



**1日も早い国会解散・総選挙で
「消費税の大増税」を中止し
「医療・介護の負担増」を許さない
国民の声が届く政治に変えよう**

北海道社会保障推進協議会

札幌市北区北14西3-1-12 TEL(011)758-2648